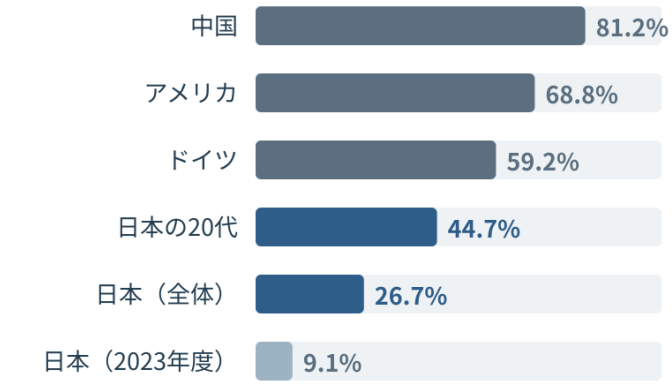
# AIを使える人と使えない人の差（情報格差）

AIを使えるかどうかの差は、どんなちがいにつながるのだろう

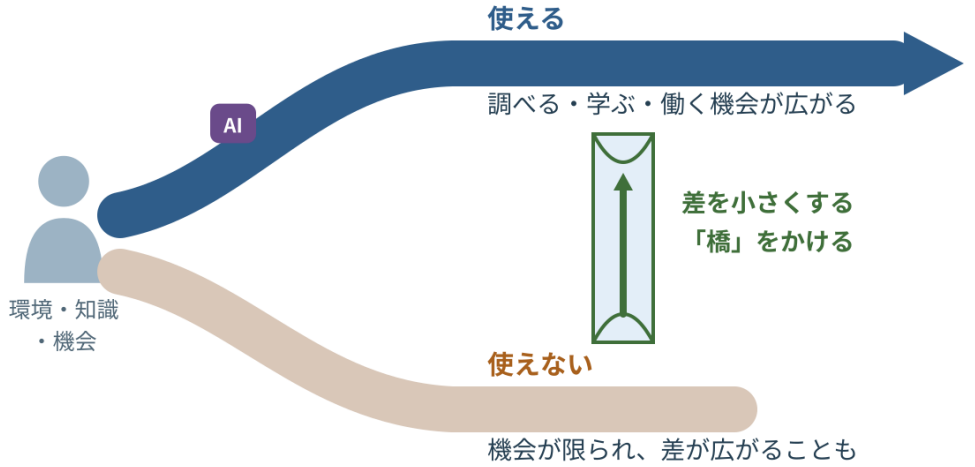
### 生成AIを使ったことがある人の割合

（総務省の調査、2024年度）




使っていない理由：必要ない／使い方がわからない など

### 差が、機会の差につながる（模式）




### 差を小さくする取り組み

**支援**

スマートフォンの講習会など
（総務省。2024年度は
全国6,000か所以上）

**学ぶ**

学校で、使い方と
ルールを学ぶ

**使いやすく**

だれでも使いやすい
デザインにする

**教え合う**

家族や友だちなど、
身近な人と教え合う

**使わないことを選ぶ自由もある。大切なのは、必要なときに使える力と環境**

※ 割合は、総務省「令和7年版 情報通信白書」の調査結果による。道の図は模式。